



目次

はじめに

要旨：本書の重要なポイント

基本情報：自動車のコネクテッドサービスおよびデジタルサービスの要点の説明

最新情報：コネクテッドサービス戦略の変化、注目すべき発表、買収、提携の視点から見た動向

分析：付属のExcelデータベースで特定されたトレンドの解説

サマリー表：コネクテッドサービスの機能マッピングとOEMグループの要約

概観：コネクテッドレポートシリーズ関連のトレンドと洞察の概要

将来の展望：OTAおよびソフトウェア更新サービスの展望

次のステップ：SBDが提供する調査サービス

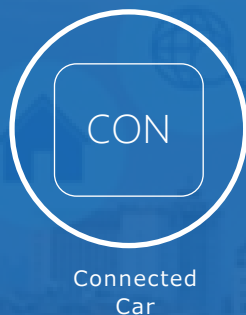
Excelデータベース：本調査における全データを収録。車種やコネクティビティなどに関する詳細データを確認することができる。

関連レポート

コネクテッド&デジタルサービス総合ガイド – 商用車

レポート番号: 546

乗用車の分野ではコネクテッドカーサービスの利用が広がっており、多くのOEMが少なくとも1つの市場でサービスの提供を開始している。その一方で、小型商用車（LCV）セグメント向けのコネクテッドサービス市場はまだ成熟の初期段階にある。本レポート「コネクテッドカー総合ガイド – 商用車」は、フリート管理やナビサービスなど、LCVセグメントの車両で提供されているコネクテッドサービスについて詳しく解説する。



レポート番号：#526

コネクテッド&デジタルサービス 総合ガイド

近年、自動車業界ではサービスベースのアプリケーションやソリューションの導入が進み、ユーザーと自動車との関わり方に影響を及ぼしています。今日、消費者は自動車の購入あるいはリースからメンテナンスや修理に至るまで、自動車の所有サイクル全体に広がるサービスの恩恵を受けることができます。

しかしながらこのエコシステムの拡大に伴い、誤ったコネクテッドサービス戦略を実施したり、競合他社のサービスに遅れをとったりするリスクも高まっています。ソフトウェア・ディファインド・ビークルの出現、サブスクリプション方式でのみ提供されるビルトイン機能の急増、ユーザー独自のサービスエコシステムの車両への継続的な統合により、これらのリスクは近い将来さらに増大することが予想されます。

本書では、OEMがライン装着しているコネクティビティを中心にサービス、技術、主要サプライヤーおよびパートナー、ビジネスモデル、アーキテクチャ、サービス提供状況などをモデルおよび市場別に詳細に解説しています。欧州・米国・中国編は半年ごとに、オーストラリア、ブラジル、カナダ、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ロシア、タイは年1回更新版を発行しています。また、欧州編、米国編および中国編はExcelデータベースが付属しております。本編であるPDF/PPT版レポートの参照元データをデータベース化したもので、各市場において各OEMが提供しているコネクティビティサービスについてより詳細な分析を行うことが可能です。

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

毎年更新 半年更新 四半期更新 毎月更新 ① ワンタイム

レポート形態

PDF PowerPoint Excel Online

ページ数

105+

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- ＞ 最も競争力のあるコネクテッドサービス/アプリを提供しているOEMは？

＞ 各OEMの価格設定およびコネクテッドカーサービスの搭載オプション
- ＞ コネクテッドカーサービスエコシステムの様々な部分でOEMが最も注目しているサプライヤーは？

＞ OEMがサービス提供に使用しているコネクティビティタイプは？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。

100+
Reports published
per year

50k+
Slides of insights,
forecasts & data

4,000+
of auto professionals
who access our reports



SBDカスタマーポータル



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「コネクテッド&デジタルサービス総合ガイド」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

